

Communication Report

第26期 中間報告書 2022.3.1▶2022.8.31

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス



第25期中間報告書のアンケートにおいて、多くのご回答をいただき誠にありがとうございました。3,500名を超える株主の皆様より、大変多くのお言葉を頂戴しました。いただいたコメントの一部を、当報告書にてご紹介いたします。

株主の皆様へ

アフターコロナを見据えた再成長期へ。
新たな仲間「サンジェルマン」を迎え入れ、
サステナブルな利益成長を目指してまいります。

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス

代表取締役社長 川井 潤



第26期(2023年2月期)の上半期につきましては、3月にまん延防止等重点措置が全面解除され、行動制限が緩和されたことを受け、経済活動は徐々に正常化しつつありました。しかしながら、7月以降、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により、消費行動には自粛の動きがみられ、世界的な資源価格の高騰や国際情勢の緊迫、円安の急進などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、原材料価格の高騰、人件費や光熱費等の上昇などに加え、依然として消費の低迷が見受けられ、引き続き厳しい経営環境が予想されます。また、リモートワークの浸透やデジタル化の加速などにより、お客様のライフスタイルは変化し、その生活様式が定着しつつあり、環境の変化に合わせた柔軟な対応が求められております。

こうした中、当社グループにおきましては、コロナ禍で培った筋肉質なコスト構造を引き続き維持強化するとともに、当社グループの強みである変化対応力を最大限に発揮し、コントラクト事業やSA・PA事業を中心とした投資効率の高い店舗や、SDGsを意識した環境に配慮した店舗の新規出店、より付加価値の高いサービス提供を目的とした業態変更のほか、シナジーを活かしたグループ内フランチャイズの推進やグループ内移管等を行いました。

また、店舗設計・修繕業務の集約や、事業会社間のコミュニケーション活性化に資する経営人財のグループ横断的な人事異動を行うなど、グループ連邦経営の更なる推進を図ったほか、DX(デジタルトランスフォーメーション)の一環として、モバイルオーダーの拡充や配膳ロボットの活用、

バックオフィス業務の効率化・高度化等に取り組んでおります。

その結果、売上収益は544億円、営業利益は51億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は35億円となりました。

足元の状況といたしましては、新型コロナウイルス感染症に対する政策が、徐々に感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る方針に転換されていること等により、経済活動には持ち直しの動きがみられる一方で、原材料価格の高騰や人件費及び光熱費等の上昇が見込まれており、引き続き不透明な経営環境が予想されます。

そのような中、9月15日に発表させていただいたとおり、12月より老舗ベーカリーの「サンジェルマン」等を運営している株式会社サンジェルマン及び株式会社北海道サンジェルマンの2社が当社グループに加わることになりました。この新しい仲間を迎え入れることで、アフターコロナに向けて、更なる成長を目指してまいります。

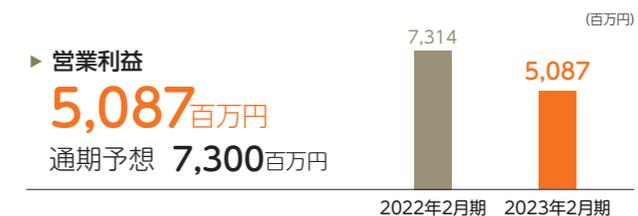
2023年2月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響を受けたものの、12月より上記2社が加わることに加え、今後、観光需要やインバウンド需要の復活が期待できることを考慮した結果、4月に発表した通期予想から変更はなく、売上収益は1,150億円、営業利益は73億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は45億円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、健康にご留意いただくとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結連業績ハイライト(上半期)

上半期の業績について

売上収益については、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響を受けたものの、営業利益は、筋肉質なコスト構造の維持等により、自治体等からの協力金を差し引いても黒字を維持することができました。通期業績予想は、M&Aの実行に加え、外食需要の復活の期待等により、概ね予想通りに推移する見通しです。



財務の詳細は、当社IRページをご覧ください。
<https://www.createrestaurants.com/ir/>



Topics 中間期の主な取り組み

中期経営計画に対して、具体的にどのようなことをしているのか教えてほしいです。
女性 30代

持続的な成長ができるよう取り組みを強化してもらいたいです。
男性 40代

環境負荷低減に向けたグループの取り組みを紹介してほしいです。
男性 30代

事業拡大やM&Aに期待しています。
男性 40代

中期経営計画として策定した成長戦略の3本の柱をもとに、食を通じて、ステークホルダーに対し、「豊かさ」を提供し続ける企業グループを目指します。

持続可能な社会の実現に貢献し、長期的なグループ企業価値向上を目指します。



EVERYONES CAFE



サステナブルなカフェ"EVERYONES CAFE"が7月13日に上野恩賜公園(東京都)にオープン

SDGsを意識し、環境に配慮した店舗として、幅広い年齢や世代の方にお気軽にお楽しみいただけるカフェです。木の温もりを感じられるリラックスした空間の店内では、物流によるCO₂の排出を極力減らすことを意識し、なるべく東京都を産地とする「江戸前食材」や「東京野菜及び江戸野菜」を使用し、旬の食材を取り入れたメニューをお楽しみいただけます。上野の森の景色を眺めながらお食事を楽しめるオープンテラス席もおすすめです。その他にも、各店舗において、食品ロスの削減、プラスチックごみの削減、地域との交流や地域に根付いた食育の場の提供などに取り組んでおり、今後も様々な視点で持続可能な社会の実現に貢献していきます。

大変な状況でしたが、昨年11月の復配有難うございます。今後も応援しています。
男性 50代

安定的な配当方針のもと、1株当たり3.0円の間配当を実施します。

いつも応援を賜りまして、ありがとうございます。安定的な配当方針のもと、今期の間配当は1株当たり3.0円(前年同期比1.5円増)に決定いたしました。期末配当につきましては、1株当たり3.0円を予定しています。



※ 2020年3月1日付で1株につき2株の割合をもって株式分割しており、上記グラフの配当額は株式分割を反映し、遡及修正しております。

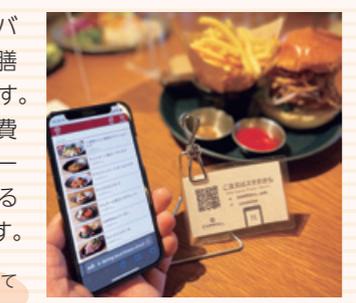
1 アフターコロナを見据えたポートフォリオの見直し

「日常」「定番」「地域密着」「低投資」をキーワードに、新たなM&Aのほか、グループの垣根を越えた業態変更やグループ内フランチャイズの実行、ゴルフ場内レストラン(コントラクト事業)やサービスエリア・パーキングエリアなど、投資効率を重視した新規出店を行っています。



3 DX推進による生産性の向上・人財不足への対応

店舗業務の効率化として、モバイルオーダーシステム*や配膳ロボットの導入を推進しています。また、本社業務においても、経費精算システムや社内ワークフローシステムの導入等により、更なる効率化、高度化を目指しています。



モバイルオーダーシステム(イメージ)

※ ご自身のスマートフォン等を使用してご注文いただける仕組みです。

2 グループ連邦経営の更なる進化

購買企画*や店舗設計機能の統合、本社オフィスのスリム化、グループ横断的な人員配置のほか、物流拠点の集約化など、グループ一丸経営の推進に取り組んでいます。



※ 2021年9月に㈱CMDを設立し、グループにおける仕入交渉のグループ一本化等に取り組んでいます。

+ 「サステナブル経営」と「コーポレートガバナンス」強化の取り組み

サステナブル経営
気候変動に関する取り組みを進めるべく、CO₂排出量に関する削減目標を設定いたしました。また、多様な人財の活躍を促進するため、女性管理職比率及び外国籍管理職比率の目標を設定いたしました。

コーポレートガバナンス
社外取締役の増員、多様性の確保(女性の社外取締役就任)、指名・報酬委員会の設置を行うなど、ガバナンスの強化に取り組んでいます。



Saint Germain

株式会社サンジェルマン、株式会社北海道サンジェルマンが新しい仲間に加わります。

9月15日に、株式会社サンジェルマン、その100%子会社である株式会社北海道サンジェルマンが12月より当社グループに加わることを発表しました。

株式会社サンジェルマンは、関東を中心に展開するベーカリーのトップブランドの一つである「サンジェルマン」や、「プルミエサンジェルマン」等のブランドで約80店舗を展開しています。創業当時から受け継がれる丁寧な商品作り、素材や製法にこだわった商品開発、店舗やFSSC22000取得の横浜工場での最高水準の安全管理から生み出される商品は、お客様の日々の暮らしに溶け込み、親しまれ、高い支持を得ています。

株式会社北海道サンジェルマンは、北海道全域の主にスーパーマーケットに「レフボン」、「サンヴァリエ」等のブランドで約70店舗を展開し、その焼き立てで高い品質の商品は、株式会社サンジェルマン同様に、地元のお客様の日々の生活を支えています。



両社を当社グループの仲間として迎え入れることで、お客様の日々の食卓を支え、憩いのひと時を提供するベーカリー事業を、当社の新しい主力事業の一つと位置付け、未永く成長を目指していきます。



株主優待制度のご案内



当社は重要な株主還元策として、 今後も株主優待制度を継続実施!!

当社の株主優待は、全国230ブランド、868店舗でご利用いただけるお食事券を贈呈しており、株主の皆様にご当社グループのバラエティ豊かな店舗をご利用いただくことが、企業としての持続的成長につながっていくという考えのもと贈呈させていただいております。

たくさんの店舗があるので、
優待で知らない店舗へ
行ってみるのが楽しみです。
これからも安心して
安全な商品提供を
お願いします。

男性 60代



ご利用可能店舗は、ホームページで

クリエイト・レストランツ・ホールディングス 優待

Q 検索

■ 株主優待制度

基準日 ▶ 2月末日 / 8月31日

贈呈時期 ▶ 5月中旬頃 / 11月中旬頃

年2回
お食事券
贈呈

保有株式数	100株以上	2,000円分	年2回
	200株以上	4,000円分	
	400株以上	6,000円分	
	600株以上	8,000円分	
	1,000株以上	10,000円分	
	3,000株以上	16,000円分	
	6,000株以上	24,000円分	
9,000株以上	30,000円分		

■ 継続保有株主優遇制度

基準日 ▶ 2月末日 / 8月31日

贈呈時期 ▶ 5月中旬頃 / 11月中旬頃

対象 ▶ 400株以上を1年以上継続保有の株主様^{※1}

年2回
お食事券
追加贈呈

継続保有株式数 ^{※2}	400株以上	2,000円分	年2回
	3,000株以上	4,000円分	
	6,000株以上	6,000円分	
	9,000株以上	8,000円分	

※1 「400株以上を1年以上継続保有の株主様」とは、株主名簿確定基準日（2月末日及び8月31日）の株主名簿に、400株以上の保有を同一株主番号で連続して3回以上記録又は記載されている株主様といたします。なお、証券会社の貸株サービスを利用するなどして株主番号が変更になった場合や、直近3回の基準日における保有株式数が一度でも400株を下回った場合などは対象外となりますのでご注意ください。詳細は、下記の適用対象例をご参照ください。

※2 「継続保有株式数」とは、継続保有の対象期間において保有株式数に変動があった場合、直近3回の基準日のうち一番少ない保有株式数のことを指します。

※3 継続保有株主優遇制度における追加贈呈分の株主様優待券は、通常分の株主様優待券と同封してお送りいたします。

会社情報

(2022年8月31日現在)

会社概要

商号 株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
本社 東京都品川区東五反田 5-10-18
創業 1999年5月
資本金 50百万円
従業員数 78名(単体)
事業内容 レストラン・居酒屋、フードコート等多様な飲食事業の企画・開発・運営及び経営管理全般

役員一覧

代表取締役会長	後藤 仁史
代表取締役社長	川井 潤
常務取締役	島村 彰
取締役	田中 孝和
取締役	大内 源太
取締役(監査等委員)	森本 裕文
社外取締役(監査等委員)	松岡 一臣
社外取締役(監査等委員)	大塚 美幸
社外取締役(監査等委員)	片山 典之

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 2月末日の翌日から3ヶ月以内
定時株主総会基準日 毎年2月末日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
(連絡先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

ホームページリニューアルのお知らせ

株主の皆様が、より充実した情報を、より見やすく快適にご利用いただけるホームページを目指し、構成やデザインを一新いたします。ぜひご覧ください。

<https://www.createrestaurants.com/>

2023年1月
公開予定!

